



長尾小学校 学校通信

がんばる！長尾！

校長 隼田 靖宏

「あゆみ」について1

7月になりました。学校では、各学級1学期のまとめに入っているところです。

担任は、1学期の「あゆみ」の執筆に取り掛り出しました。何時間もかけながら心を込めて取り組んでいます。

「あゆみ」について、担任と保護者の皆様とよりよく共有するために、この場をおかりして、何回かに分けてご説明させていただきます。今回は第1回です。

1 学校での授業について評価します。

評価はあくまでも授業について行われます。習い事や家庭学習の成果、潜在能力の評価をするものではありません。

極端な例を出せば、スイミングスクールで100m泳げる泳力があっても、授業を何度も見学したり実技の経験が少なかったりすれば、意欲や技能を「がんばろう」と評価することもあります。

2 「たいへんよい」「よい」「がんばろう」の3段階で評価します。

各教科「意欲、思考、技能、理解」等の4～5観点があり、その観点ごとに3段階で評価します。

例) 国語は5観点「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」

体育は4観点「運動や健康・安全への関心・意欲・態度」「運動や健康・安全についての思考・判断」「運動の技能」「健康・安全についての知識・理解」など

3 「たいへんよい」「よい」「がんばろう」を学級で何個とか決めていません。

3段階評価については、それぞれの数は決まっています。観点の達成具合（評価規準に照らし合わせる）で評価します。（絶対評価と言います。）評価規準は、北九州市の規準をもとに学校独自に定めています。



子どものけんかについて

6/23（金）読売新聞の記事に「けんか 自ら解決する力育む」という見出しがありました。

記事によると、子どものけんかは成長の契機であり、すべて「けんか＝悪」として大人が最初から介入すべきではないとのこと。

実際、学校現場でも子ども同士のけんかにすぐに教師が仲裁に入り、双方謝罪をさせ、保護者に連絡することが最近は多くなっています。

当然、けがを伴ったり、一対集団だったり、心が傷つくような言葉で責めたり、一方的であったりするような場合には、けんか当初から教師が介入して解決します。しかし、お互いの話し合いで解決できるような時には、教師が見守ることもあるのではないかと考えています。

学校では、子ども達の将来を考え、ケースバイケースで最善の方法で対応いたします。

時には、保護者の方同士、ご連絡を取っていただくことをお願いする場合があります。その都度ご相談させていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。